道徳教育全体計画

小松市立南部中学校

生徒の実態

・素直な生徒が多い。
・学校行事や生徒会活動，部活動に意欲的に取り組む。
・自分の考えや思いを言葉で表現することが苦手で，人間関係に配慮が必要である。

教職員・保護者の願い

・創造力を高め，学習意欲と向上心を持った生徒
・思いやりの心を深めるとともに感動する豊かな心を持つ生徒。
・健やかな体と豊かな人間性を備えた生徒

生徒指導の目標

・基本的生活習慣の育成
・正しい判断力と実践力を育てる。
・友を思いやる気持ちを育てる。

学校の教育目標

自主的で創造的な高い知性と人間らしい思いやりのある豊かな情操を培い，強健な心身で実践力のあるたくましい南中生徒を育成する。

めざす生徒像

「小松の南十字星となる」
～君の心の中に　南十字星は輝いているか～

・学習意欲と向上心をもった生徒
・規律正しく思いやりのある生徒
・心身ともに健やかで他と協調し自ら行動できる生徒

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・教育関連法規
・小松市教育目標

学習指導要領

時代や社会の要請
白書，答申等

道徳教育の重点目標

・自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，個性を伸ばして充実した生き方を追求する生徒の育成
・温かい人間愛の精神で，他の人々に対し思いやりの心をもつ生徒の育成
・自己の役割と責任を自覚し，集団生活の向上に努める生徒の育成

保健安全指導の目標

・生徒が心身共に健康に成長し，安全で豊かな生活を実践できる能力を養う。

各学年の重点目標

１学年	・何事にも積極的に取り組み，やり遂げることができる生徒の育成 ・自ら考えて正しく判断し，適切に行動できる生徒の育成 ・お互いの良さを認め合い，思いやり，支えあえる集団の育成
２学年	・自立の精神を重んじ，自主的に考え誠実に実行し，責任を持つ。 ・異性について正しく理解し相手の人格を尊重する。 ・生命の尊さを理解しかけがえのない自他の生命を尊重する。 ・正義を重んじ，誰に対しても公平公正にし，差別や偏見のない社会の実現に努める。 ・奉仕の精神を持ち，公共の福祉と社会の発展に努める。
３学年	・卒業学年として中学卒業後の進路を意識し，自分なりの目標を設定することで，目標に向かって努力し困難を乗り越える中で，自分自身を高めていこうとする生徒の育成 ・社会や集団に役立つことを実践し自分が求められている（愛されている）存在であることを意識させるとともに，社会や集団におけるマナーやルールを意識し，周囲に気配りできる生徒の育成 ・自分を大切にするとともに，周囲　へも思いやりの心を持ち，互いに　励まし合い協力し合いながら集団として高まっていこうとする生徒の育成

国語	・思考力や想像力を養い，言語感覚を豊かにすることで，互いの立場や考えを尊重する心情を育てる。
社会	・我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め，公民としての基礎的教養を培い，国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
数学	・問題文を正しく解釈し，事象を数理的に考察し表現していく中で，粘り強く取り組む姿勢を持つ。
理科	・実験や観察を通して日常生活との関わりに気づき，自然や生命の尊さを理解し尊重する心を養う。
音楽	・美しいものや崇高なものを尊重する感性を育み，音楽を通して豊かな情操を養う。
美術	・創造力を高めるために美しいものや崇高なものを尊重する豊かな情操を養い，人間性を磨く。
保健体育	・運動することを通して，強い意志を持って，ルールを守り，最後までねばり強くやり遂げる態度を養うとともに，皆と協力し責任を果たす態度を深める。健康・安全についての理解を深め，生活習慣の大切さを知り，自分の生活を見直す。
技術家庭	・生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得し，望ましい生活習慣を身につけ，勤労の尊さや意義を理解するとともに，生活を工夫し創造しようとする態度を育てる。
英語	・外国語を通じて我が国や外国の言語や文化への理解を深め，世界の中の日本人としての自覚をもち，国際的視野に立って，世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。

総合的な学習

・総合的な学習の時間の目標と道徳との関連を意識しながら指導をおこなう。
・現代社会の課題に取り組み，自己の生き方を考える。
・横断的･総合的な学習や探究的な学習を通して主体的に判断して学習を進めたり，粘り強く考えて解決しようとする資質や能力を養う。
・自己の目標を実現しようとしたり，周囲と協調して生活しようとする態度を養う。

特別活動

学級活動	好ましい人間関係の醸成 基本的モラルや社会生活上のルール・マナーの尊重
生徒会活動	生活の諸問題を話し合い協力して解決しようとする。
学校行事	豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性を養う。

道徳の時間の指導方針

各教科，総合的な学習の時間，特別活動等との関連を図り，それらにおける道徳教育を補充，深化，統合し，道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め，道徳的実践力を育成する。

「私たちの道徳」活用の基本方針

・年間３５時間の道徳の時間の中で，計画的に活用する。
・道徳の時間の中で１時間を通して活用するなどの工夫をする。
・家庭や地域社会との架け橋として「私たちの道徳」を活用する。

家庭・地域との連携

道徳性の育成を家庭の教育力に期待し，育友会活動を中心に家庭のあり方を共に考え，実践し向上を目指す。
・育友会だよりを通して学校行事への保護者の参加を進める。
・家庭の教育力を高めるための講座，懇談会の開催
・メール配信を通して学校の情報を知らせる。
・地域の様々な行事に参加し，文化の理解と発展に努めようとする意欲を育てる。
・道徳教育への共通理解を深め，相互連携を図るために，各種通信の発行や公開授業の際に「私たちの道徳」を活用する。

学校・学級環境　その他の活動

教育課程外の教育活動は三領域を補完し，また学校生活に潤いをもたせる。体験的活動を通して補充深化し，道徳の時間へ啓発する。
・学級朝活・終活　・清掃，環境美化指導・進路指導
・教育相談・給食指導
・言語環境を整え豊かな情操を培う。